

日本産業衛生学会東海地方会

## 地方会ニュース

発行所 東海地方会ニュース編集事務局  
〒480-1195  
愛知県長久手市岩作雁又 1 番地 1  
愛知医科大学医学部衛生学講座内  
電話 (0561) 62-3580  
FAX (0561) 62-3580  
発行責任者 柴田 英治

題字 皿井 進筆

## 巻 頭 言

## 3D 立体映像が労働現場を変える

名古屋大学情報科学研究科 宮 尾 克



『アバター』(Avatar) は、2009 年に公開されたジェームズ・キャメロン監督による英米の合作映画です。3D 映像が世界的な大きな話題となり、世界興行収入は、歴代 1 位となる 27 億 8,800 万ドル (約 2,518 億円：当時) を記録したそうです。

立体映像の概念は 1832 年、英国の物理学者 Charles Wheatstone によって発表されて以来、現在までの 150 年余の間に、立体映像は数回の流行がありました。19 世紀後半から 20 世紀前半にかけてのステレオ写真の流行以外はいずれも 2～3 年以内に流行に陰りが見えて、収束するという経緯をたどりました。一方、3D 技術に関しては、アナログ時代には立体視表示技術を意味しましたが、デジタル時代に入ってから、3D 立体映像 (実写) に 3DCG (仮想映像) を加えた 3DAR (拡張現実) や、五感に訴えかけて没入感を得られ、対象者へのフィードバック機能と対話性を持つ 3DVR (Virtual Reality) が登場しました。その他モバイル端末 (ケータイやヘッドマウントなど) と位置・空間情報を組み合わせたモバイル 3D 分野など発達してきました。

3D 技術の応用分野として、自動車産業では、3DCAD の導入、そのデータを用い、コンピューター支援製造 (CAM) 計算機支援工学 (CAE) の組み合わせによって、生産性の向上や開発期間の大幅な短縮に効果をあげています。

医療分野では、病巣や血管走行などの立体的な把握が診断の精度を高める上で有効であり、従来からの眼底のステレオ撮影に加え、3D 内視鏡とマニピュレータを組み合わせた内視鏡手術支援システムにより、人

間では行なえないような微細な動きを必要とする手術も可能となりました。また、患者の CT スキャン情報と 3D プリンターをリンクさせて、インプラント用のパッチや、移植用の臓器をプリントする、負傷した部分に皮膚の細胞を吹き付けて治療する、といったレベルにまで進んでいます。このように、遊戯施設などのエンターテインメントはもとより、建築、教育、訓練や広告、さらに上記の 3D 印刷による臓器や細胞の印刷など、従来では考えられなかった分野まで 3D 技術の応用が進んでいます。

筆者が最近取り組んでいるものに、シースルーめがねがあります。



スマートヘッドセット (シースルーめがね)  
エプソン MOVERIO Pro BT-2000  
(<http://www.epson.jp/products/moveriopro/>)

複雑な機器の修理などに、このシースルーめがねを掛けながら行うことによって、修理すべき現物と、シースルーめがねに映った配線図をみくらべながら、熟練していなくても確かに、作業ができます。めがねのシースルー画像に配線図やさまざまな図面が表示できるのです。

私は、眼や視力がさまざまな作業者のだれもが、このシースルーめがねの恩恵を享受できるように、大規模な実験を行っています。

## 開 催 報 告

平成27年度日本産業衛生学会東海地方会総会  
ならびに研修会

シャープ(株) 三重工場 酒 井 秀 精



平成 27 年度の地方会総会ならびに研修会を、四日市市のじばさん三重にて 6 月 13 日に開催させていただきました。

「生活習慣への新しいアプローチ」と題し、タバコ、アルコールについて 3 人の方に講演をしていただきました。

講演Ⅰ、Ⅱでは、タバコについて、禁煙マラソン事務局長の三浦秀史先生、奈良女子大学大学院教授の高橋裕子先生に御講演いただきました。



講演Ⅰ：三 浦 秀 史 先生

三浦先生には「禁煙で職場の大切な命を守る」とのテーマで非医療者の視点からお話いただきました。「禁煙という商品売りしたい」という我々医療者の側からは思いもよらないような内容でとても興味深いもので、これからの禁煙支援に取り入れていきたいと思いました。



また、高橋先生からは「禁煙が導く職場の健康」とのテーマでお話いただきました。喫煙の弊害や禁煙治療についてわかりやすく解説していただき、さらに 4A + A という動機付け声かけ法を教えてください、ぜひ取り入れて実践していきたいと思いました。



講演Ⅱ：高 橋 裕 子 先生

講演Ⅲではかすみがうらクリニック副院長の猪野亜朗先生に「職域における「アルコール関連疾患」への介入方法」とのテーマでお話いただきました。アルコールに関する問題は身近なものであるにも関わらず、系統立てて知識を得る機会はありませんでしたので、とてもためになりました。猪野先生のお話をうかがい、多量のアルコール摂取を行う従業員への介入をもっと積極的に行っていきたいと思いました。



講演Ⅲ：猪 野 亜 朗 先生

天候にも恵まれ、予想をこえる 112 名の方に参加いただきました。

そのため資料や席が不足してしまいご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。

講演  
I

## 禁煙で職場の大切な命を守る

三 浦 秀 史 先生

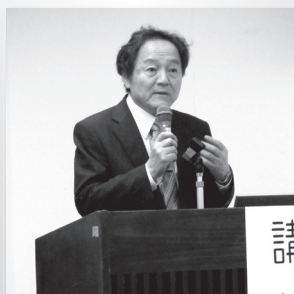
講演  
II

## 禁煙が導く職場の健康

高 橋 裕 子 先生

講演  
III

## 職域における「アルコール関連疾患」への介入方法 猪 野 亜 朗 先生



猪野 亜朗 先生 &amp; スタッフ



## 会 員 の 声

## 適材適所で活躍できる研究室の構築をめざして ...

名古屋大学大学院医学系研究科 環境労働衛生学 加 藤 昌 志



私は、産業衛生学は職業に起因する傷病を予防することを目的とした学問領域であると理解しています。ゆえに、職場における健康リスクを評価するフィールドワークは産業衛生学の基本だと思いま

す。しかし、ヒトでの調査は、倫理的問題もあり、限界があります。そこで、動物実験等を含めた基礎研究の重要性がクローズアップされてきます。このように、産業衛生学は「フィールドワーク研究」と「実験的基礎研究」の両者をバランスよく融合させながら発展すべきものと思っています。

我々の研究室における大学院生・若手研究者には、できるだけフィールドワーク研究と実験研究の両方に取り組んでもらうように意識しています。それとなく観察していると、彼等は苦勞しながらも、両研究を少しずつマスターし、自分の居場所を見つけていきま

す。実験的基礎研究を行うことを目的に大学院に入学した学生が、フィールドワークに精通する研究者になったり、フィールドワーク研究と基礎研究の両方に精通していることをセールスポイントに就職先を見つけたりと、若人の可塑性を実感して、嬉しくなります。

私は、研究と教育における適材適所というのは、国籍・文化・専門性をこえて、所属メンバーが研究室内に自分の居場所を見つけて、明るく一生懸命に研究に集中できる研究室ではないかと思っています。もちろん、簡単に達成できるものではありませんが、研究室のメンバーにできるだけ多くの選択肢を提供することにより、理想を追い求めています。フィールドワーク研究から実験的基礎研究までにチャレンジする変わった研究室ではありますが、どんな点でも結構ですので、興味を持たれた方がいらっしゃれば、ホームページ等を通して気軽にコンタクトいただけたら、私としては望外の喜びです。

## 新理事のご挨拶

浜松ホトニクス株式会社 総務部厚生グループ 菅 沼 要一郎



2008年度に日本産業衛生学会東海地方会に入会させて頂き、2015年3月より地方会理事を拝命致しました、浜松ホトニクス株式会社の菅沼と申します。2001年に北里大学医療衛生学部を卒業後、現在の

会社に入社し、1年間の研修を経て現在の総務部厚生グループに配属・勤務しています。

弊社は、ニュートリノを観測した際の検出器である光電子増倍管や、光半導体素子を主力製品とし、光技術で何ができるかをテーマに人類未知未踏の分野を迫っている会社で、静岡県西部に計9事業場、従業員数は全体で約3,300人となります。

当部署は各事業場の安全衛生活動を調整する本部機能を担っており、自身としては、会社の安全衛生方針や基準、活動の企画・立案をはじめ、関係法令の改正

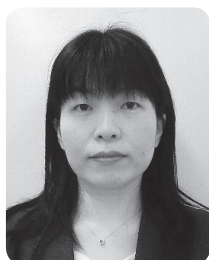
情報収集及び事業場への展開、マネジメントシステムの推進、データ収集・分析、教育等、労働衛生分野を基盤とし会社全体の安全衛生を担当しています。

その様な中、業務の専門性向上の為に労働衛生コンサルタント（衛生工学）の勉強を進め、昨年度に取得することができました。次々と関係法令が改正される昨今、特に化学物質管理については規制内容を十分理解した上で、少量多品種のモノづくりを行う複数の事業場に対して、如何に正確に分かり易く伝え、事業場の活動・実態を生かした対策を行うかを日々模索しています。

地方会理事としては経験・知識共に浅く、微力ではありますが、産業衛生技術部会を中心として積極的に参加させて頂き、東海地方の産業衛生の発展、水準の向上に少しでも貢献できるよう日々努力して参ります。今後とも、ご指導・ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い致します。

## 新規加入のご挨拶

(株)東芝 セミコンダクター&ストレージ社 四日市工場 **松 木 理 恵**



この度、日本産業衛生学会東海地方会へ入会させて頂きました松木理恵と申します。

私はシステムエンジニアや医局秘書などを経験したあと、再受験をして医師になりました。糖尿病内科でシニアレジデントとして働くうちに予防医学の大切さを痛感し、先に産業医資格を取得した夫からの勧めもあって、産業医としてこの4月から働き始めました。大学在学中には衛生学講座で小林章雄先生や柴田英治先生にお世話になりましたので、先生方と同じ領域で仕事ができることになり嬉しく思っております。余談ですが、先日の産業衛生学会で久しぶりにお会いした柴田先生が私を覚えていて下さり大変感激しました。

当工場はデジタル機器に広く使われている記憶媒体

のNAND型フラッシュメモリを24時間稼働で生産しております。従業員数は5,500人を超え、現在は次世代のメモリ生産に向けた新製造棟の建築も進行中です。製造と開発が全て同一工場内で行われており、構内をせわしなくトラックが行き交って日々大きくなっていく製造棟の建物を見ながら、最先端の技術開発のため議論を戦わせる従業員の姿にも刺激を受ける毎日です。東北や九州など他の工場から転勤された方や、同業他社からのキャリア入社も多くメンタルヘルスをはじめとして従業員の健康対策に奮闘中です。

産業保健の現場に足を踏み入れたばかりのため、これで良いのかと対応に迷うことも多々ありますが、少しでも工場の安全、従業員の健康に貢献していきたいと考えています。今後も学会・研修会などを通じて東海地方会の皆様方にお世話になることがあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

## 近況報告

三菱電機(株)静岡製作所 **窪 田 誠**



東海地方会の皆様初めまして。当製作所では、霧ヶ峰ブランドの家庭用エアコン、業務用エアコン、冷蔵庫、コンプレッサーの設計開発・製造を行っております。エアコンは暑くなったところに需要が高

まるため、毎年3月から8月中旬ころまでが繁忙期と称して生産が活発になります。この時期は、期間社員や派遣社員などの増加のため、通常の1.5倍の2,500名ほどに人員が増加します。人の出入りが多く、様々な健康状態の方や健康への多様な価値観もあり難しさを感じることもありますが、雇入れ時の教育に健康・生活面を入れ込むなど、教育の充実を図っているところです。また、海外3か国（タイ、中国、イギリス）6拠点のマザー工場であり、国際化しているのももう一つの特徴です。研修で日本に来られる方も多く、健診の事後措置では身振り手振りで四苦八苦しな

がら受診勧奨しております。多くの方が海外外向しているため、定期的に現地に訪問し健康相談等のサポートを行っています。

入職してから少しずつですが取り組みの変化を感じております。一例ですが、入職した当初は熱中症についての認識があまりなく、講話や委員会のコメントで注意喚起を行っていたのですが、最近ではWBGT計を用いた管理や、暑熱環境でリスクの高い職場ではラインを止め水分塩分補給をする時間を設けるようになったりと、熱中症を起こさないためにどうするかといった活動が行われてきています。自身の働きかけが契機になり少しずつでも職場環境の改善が行われていくところに面白みを感じております。なかなか、対応がすすまず焦ったり苛立つこともあるのですが（自身の力不足ではありますが）小さな変化でも大切にし、着実な改善を心がけていきたいと思っております。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

## 研 究 室 の 紹 介

梶山女学園大学 看護学部 公衆衛生看護学  
(西谷直子研究室)

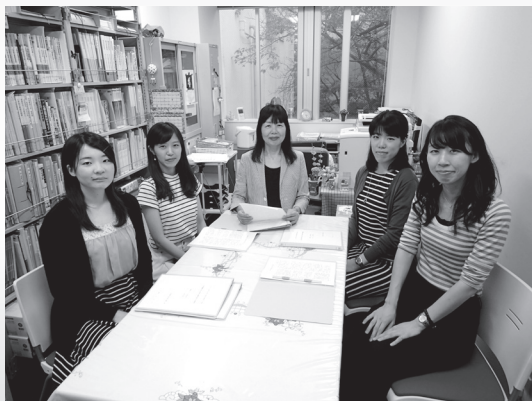
西谷 直子 先生

梶山女学園大学看護学部は2010年（平成22年）4月に開設しました。大学としては2015年、110周年を迎えましたが、7学部のうち看護学部は最も新しい学部として誕生しました。これまで1期生、2期生の卒業生を送り出し、もうすぐ3期生が巣立とうとしています。梶山女学園大学は「人間になろう」という教育理念を掲げ、聡明で人を思いやれる女性を育てる気風に満ちています。これはまさに看護職に通じることだと思います。長年、女性の教育に力を費やし、社会進出にも多くの支援をしてきた総合女子大学であり、その良さが看護教育にも生かされる気がします。

ゼミの体制は、各教員が1年生から少人数制のゼミを受け持ち、卒業時までの学びを支援する体制となっています。1年、2年は同じ学生を受けもち、3年からは卒論指導に併せて学生のメンバーが変更になります。現在、当研究室では各学年5名から6名のゼミ生とともに授業を展開しています。保健師教育は、2012年(平成24年)の入学生から選択制を取り入れ、希望者のうち選抜された学生が、3年から公衆衛生看護学

教員の下でゼミを展開します。このような学生は志の高い人が多く、まじめに取り組む姿勢が感じられます。産業看護に関する内容については、教育のカリキュラム改正を機に「産業看護学」の科目を独立させて設け、その時間数や関連する実習時間を増加させました。これまで保健師として就職した人々も元気に活躍しています。今後は巣立った人達がさらに経験を積み、成長した保健師として長く活躍してくれることを期待します。

また主な研究活動は、働く人々の健康づくりに関して産学共同研究を継続して実施しています。研究成果は、協力していただいた方々や社会へ還元できるように日々取り組んでいます。2015年には、大阪で開催された第88回 日本産業衛生学会で「最優秀演題賞」を受賞し、今後の活動にさらに励みとなりました。今後もこれまでの経験を生かして教育と同時に研究活動に精進していきたいと考えます。



ゼミ生とともに



ゼミ生の発表場面

## ご 挨 拶

## 新理事就任のご挨拶

日本福祉大学看護学部 水 谷 聖 子



この度、日本産業衛生学会東海地方会理事を拝命しました日本福祉大学看護学部の水谷聖子です。本学看護学部は2015年4月に東海キャンパス（東海市）に開設し、名鉄太田川駅から歩いて5分の地の

利、中部圏最大の鉄鋼基地のある場所です。理事就任は、分不相応で身の引き締まる思いではありますが、諸先輩理事の皆様方と本学会地方会の運営に携わることが出来ますことを心からうれしく思います。

産業保健を取り巻く状況をみますと、過重労働、化学物質や腰痛・熱中症など様々な健康課題に加え、2015年12月からはストレスチェック制度がはじまります。メンタルヘルス対策においては、これまで以上に産業看護職の役割が重視されてきています。人々の生活、仕事を心身の健康面からとらえることができる看護職としての強みを、活かしていくチャンスでもあると思います。しかし、産業現場において看護職が専門職として十分に理解されているとはいいい難いと感じることがあります。さらに、労働人口の約7割を占める中小企業においては産業保健サービスやシステムすら十分浸透しているとはいえません。

奇しくもこれまで本学会産業看護部会が実施してきました教育システムと登録制度が改められ、産業保健看護専門家（保健師・看護師）の学会認定制度もスタートします。産業保健に携わる看護職が、専門職として切磋琢磨しながら、他職種と連携し生き活きと働く環境づくりに向けて、ひいては労働者のWell-beingを高めることができるように研修、調査研究、交流や組織の活性化などで、一理事として微力ながら貢献できればと思います。

至らない点も多々あるかと思いますが、皆様のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いします。





## 事務局から

## 地方会理事会

## 平成27年度 第2回理事会

日時：平成27年8月29日(土)10：00～12：00

場所：中部大学名古屋キャンパス

(6階・610講義室)

## 【議題】

Ⅰ．前回理事会議事録（案）の確認

Ⅱ．報告事項

- 1) 本部理事会報告事項
- 2) 地方会事務局報告事項（会員状況）
- 3) 平成27年度総会ならびに研修会の開催報告
- 4) 部会・研究会
- 5) 愛知県医師会産業保健部会
- 6) 地方会ニュース
- 7) 平成27年度地方学会準備状況
- 8) 関連学会
- 9) その他

Ⅲ．協議事項（その他）

## 平成27年度 第3回理事会

日時：平成27年12月19日(土)10：00～12：00

場所：中部大学名古屋キャンパス

(6階・610講義室)

## 【議題】

Ⅰ．前回理事会議事録（案）の確認

Ⅱ．協議事項

- 1) 規約の改正について
- 2) 本部研究会活動の改革について
- 3) その他

Ⅲ．報告事項

- 1) 本部理事会報告
- 2) 地方会事務局報告事項（会員状況）
- 3) 平成28年度予算
- 4) 平成27年度地方会学会開催報告
- 5) 部会・研究会
- 6) 委員会
- 7) 愛知県医師会産業保健部会

8) 地方会ニュース

9) 第28回産業保健スタッフのための研究会準備状況

10) 関連学会

11) その他

## 会員の異動

【新入・再入会員】（※は学生会員を表す）

## 愛知

- ① 鵜飼 美和（一般財団法人 日本予防医学協会）
- ② 清水なつき（日本グラスファイバー工業(株)）
- ③ 金森 史枝（名古屋大学大学院教育発達科学研究科教育科学専攻）
- ④ 加納真由美（NTT西日本東海健康管理センタ）
- ⑤ 丹羽 文子（名古屋市職員共済組合）
- ⑥ 大野 理恵（三菱重工(株)名古屋航空宇宙システム製作所）
- ⑦ 李 香（名古屋大学大学院医学系研究科環境労働衛生学）※
- ⑧ 高津るみ子（(株)トヨタ自動車 元町工場）
- ⑨ 加藤 善士（藤田保健衛生大学大学院医学研究科 公衆衛生学教室）※
- ⑩ 近藤小百合（(株)中京銀行）
- ⑪ 長谷川まり（名古屋大学大学院 医学系研究科・環境労働衛生学）※
- ⑫ 大塚 智美（名古屋大学大学院医学系研究科・環境労働衛生学）※
- ⑬ 澁谷 亮（トヨタ自動車(株)）
- ⑭ 辻本 尚実
- ⑮ 永田裕美子（(株)トヨタエンタプライズ）
- ⑯ 伊藤 摂美（矢崎総業(株)）
- ⑰ 端谷 毅（はしたにクリニック）
- ⑱ 吉村公美子（名古屋大学）



**三重**

- ①小倉 春香 (DMG森精機(株))
- ②河村 則子 (本田技研工業(株)鈴鹿製作所)
- ③早川 恵子 (本田技研工業(株)鈴鹿製作所)
- ④杉野かおる (パナソニックデバイスマテリアル  
四日市(株))
- ⑤橋本 峰子 (KKC近畿健康管理センター 三  
重事業部)

**岐阜**

- ①今津 宏子 (イビデン(株))
- ②宮良 肇 (一般財団法人 岐阜県産業保健セ  
ンター)

**静岡**

- ①神谷 朱 (プライムアースEVエナジー(株))
- ②海道 梨菜 (プライムアースEVエナジー(株))
- ③渡辺 修一 (渡辺耳鼻咽喉科・アレルギー科ク  
リニック)
- ④池谷 優佳 (株ユニバンス)
- ⑤臼井 理恵 (旭化成(株)富士支社)
- ⑥西本みどり (静岡県立大学)
- ⑦小川 泰子 (株ワークフェア)
- ⑧青池 瑞江 (株パナソニックシステムネット  
ワークス開発研究所)

**【転入会員】****愛知**

- ①尾崎 由美 (総合犬山中央病院)
- ②長野亜希子 (日東電工(株) 豊橋事業所)
- ③井出芙蓉美

**三重**

- ①鈴木 章裕 (松阪中央総合病院)

**静岡**

- ①清永 英利 (フジ虎ノ門整形外科病院フジ虎ノ  
門健康管理センター)

**【退会会員】****愛知**

- ①樋口 耕造 (アイシン精機(株) 刈谷診療所)
- ②栗田 秀男 (医療法人社団 卓和会 しらゆり  
クリニック)

- ③柳川 淳 (医療法人社団 卓和会 しらゆり  
クリニック)

- ④吉田 可苗 (株ジェイテクト)

- ⑤嶋村 美喜 (アビームシステムズ(株))

- ⑥野村 雅則 (トヨタ車体(株)健康推進センター)

- ⑦高橋 秀平 (名古屋大学大学院医学系研究科リ  
ハビリテーション療法学)

**三重**

- ①一尾多佳子 (医療法人社団 大和会 日下病  
院)

**静岡**

- ①植松 清美 (株ユニバンス)

- ②古村 真樹 (ジヤトコ(株))

**【転出会員】****愛知**

- ①張 霊逸 (名古屋大学大学院医学系研究科環  
境労働衛生学) 関東へ

**三重**

- ①高木 二郎 (三重大学大学院医学系研究科 公  
衆衛生・産業医学分野) 中国へ

**静岡**

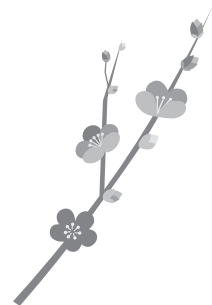
- ①山野 智子 関東へ

- ②柳川 祥子 (キャノン(株)富士裾野リサーチパー  
ク) 関東へ

- ③山野 光彦 (東海旅客鉄道(株)静岡健康管理セン  
ター) 関東へ

**【地方会内異動】**

- ①山下 朋子 (名古屋検疫所 静岡空港出張所)



## これからの行事予定

### 第28回産業保健スタッフのための研修会

日時：平成28年1月23日(土)10：00～16：00

(受付開始9：30)

場所：ウインクあいち会議室1103

### 第3回東海地方会産業看護部会理事懇談会

日時：平成28年1月23日(土)16：30～18：00

場所：名古屋サミットホテル会議室

### 東海地方会産業看護部会研修会

日時：平成28年2月13日(土)13：00～17：00

場所：中部大学名古屋キャンパス6階ホール

### 振動障害研究会

日程：平成28年2月13日(土)13：00～16：00

場所：名古屋大学医学部保健学科(大幸キャンパス)

本館1階多目的会議室

### 東海地方会産業医部会懇話会

日時：平成28年2月27日(土)13：30～17：00

場所：名古屋セントラル病院講習室

### 第86回日本衛生学会学術総会

日程：平成28年5月11日(水)～13日(金)

場所：旭川市民文化会館

### 第89回日本産業衛生学会

日程：平成28年5月24日(水)～27日(金)

場所：福島県文化センター、福島市音楽堂



## 編集後記

本地方会ニュースも第85号となりました。何気なく手にするこのニュースも、地方会の取り組みを発信する媒体として、そして活動のアーカイブとして連続と継続発行されている重みを感じると共に、凄いことだとあらためて感じています。私自身はたいした貢献ができておりませんが、地方会ニュース専属(?! )カメラマンとして、地方会活動の記録を写真に収めていきたいと思います。

名古屋市立大学 榎原 毅

### 東海地方会ニュース

編集委員長：西谷 直子(椋山女学園大学)

副編集委員長：池田友紀子(キャノン)

編集委員：赤津 順一(日本予防医学協会)

榎原 毅(名古屋市立大学)

河南 文子(富士電機)

後藤 由紀(四日市看護医療大学)

榊原 洋子(愛知教育大学)

菅沼要一郎(浜松ホトニクス)

城 憲秀(中部大学)

守田 祐作(新日鐵住金)

山本 誠(ヤマハ)

### 東海地方会事務局

〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1  
愛知医科大学医学部衛生学講座内

TEL：(0561)62-3580 FAX：(0561)62-3580

E-mail：aratokai@aichi-med-u.ac.jp

### 印刷・製本

富士ゼロックスサービスリンク株式会社

TEL：(052)412-1461 FAX：(052)412-4149